

第1回  
定例会

令和3年度一般会計予算 骨格予算として過去最大

207億4500万円

市長選挙のため骨格予算、政策予算は6月以降の補正で

市議会が市の予算をチェック！

「私たちの税金どんなコトに使われるの？その予算本当に必要なの？」委員会ではそんな疑問を解消するために、議員から担当課へ様々な質問を投げかけています。



当初予算に対する説明

審査冒頭に令和3年度当初予算の概要について、市より説明を受けました。

市長選挙が予定されているため、義務的な経費を中心とした「骨格予算」にて編成しています。「政策的な経費」については極力見送っています。年度当初から着手しなければならぬ事業については、当初予算に計上しています。

令和3年度は、年々増加する扶助費等社会保障関連経費の増加に加え、新型コロナウイルス感染症対策費、大原中学校大規模改造事業及び、収入の大きな見込み財源である、ふるさと納税推進事業費（積立金含む）の増加などにより予算規模が大幅に増加しています。

予算審査特別委員会  
委員間討議

① 待機児童問題

これまで待機児童対策として、施設整備や保育士確保の施策など、様々な取り組みにより努力されていることは理解できます。施設整備においては、ほぼ全ての児童を受け入れることができる体制が整いつつあるというのですが、保育士不足により児童を受け入れることができず、定員を充たすことができていない園もあります。

待機児童の解消に向けて更なる方策を早急に講じ、保育士を早急に確保するために事業者への適切な指導及び連携をこれまで以上に行っていただくよう市に対して強く求めました。

② 予算に対する取り組み

今回の審査において、予算計上された事業について、どのような目標を持つて取り組むのか。また、予算の根拠等が十分に説明・答弁されない場面がありました。

市が予算計上される事業等については、これまでの経過等を踏まえた上で具体的な目標を目指して取り組むこと

が重要です。審査におきましては、それらを踏まえた説明及び答弁を行うよう市に対して強く求めました。

審査報告

令和3年度小郡市一般会計並びに特別会計予算など7議案については、全員で構成する予算審査特別委員会を設置し、3月2日、3日、4日の3日間にわたり慎重に審査しました。

委員間討議を経て採決を行った結果、令和3年度当初予算については、全て原案のとおり可決されました。

近年、頻繁に起こりうる豪雨に對しての備え、また年々増加する社会保障費に加えて、新型コロナウイルス感染症対策費など、市の予算は骨格予算でありながら200億円を超える過去最高額となりました。

議会として、予算が効率よく公平に市民の福祉向上と地域活性化、そしてアフターコロナを見据えた事業となっているか審査し、提言をしていきます。